

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年11月1日

事業所名: は一もに一

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	11	10	1	39	5	0	5	平日は放課後等デイサービスと児童発達支援の部屋を交互に共有できるようにする。
	2 職員の適切な配置	10	8	4	28	3	0	9	複数の職員が病欠になっても対応できるよう人員確保に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	17	5	0	44	3	0	2	カードや動画による教材などを工夫し、視覚支援を多く取り入れる。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	20	2	0	47	1	0	1	感染予防のため、毎日、室内の消毒を実施し、清掃や整理整頓を徹底する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	16	6	0	/	/	/	/	各プログラムごとに毎回振り返りを行い、次回への改善に生かすようにする。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	14	7	1	/	/	/	/	今後も専門家にお願ひし、業務改善に生かしていきたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	20	2	0	/	/	/	/	職場内の研修に留まらず、各種学会などにも積極的に参加するようにする。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	21	1	0	44	3	0	2	一緒になって個々に応じた支援計画を立ててきている。もう少し話し合いの機会を増やしてほしい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	21	1	0	47	1	0	1	苦手を克服し、得意な面を伸ばすように支援してくれている。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	19	3	0	/	/	/	/	言語聴覚士と言語聴覚障害を専門とする職員が連携しながら、臨床的あるいは教育的な立場から療育を推進する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	19	3	0	児童発達支援管理責任者が児童指導員や保育士に、サービス計画に沿った支援ができているかどうか常に確認するようにしている。	45	2	0	0	課題を確認し、しっかりとした目標を立ててその実現に取り組んでくれている。 自分からも、もう少し踏み込んで聞いてみようと思う	定期的な子供一人一人の実態把握に努め、情報をを共有しながら効果的な支援を実施する。
	5	19	3	0	常に話し合いを行い、より多くの意見を取り入れるようにしている。						子どもたちが意欲をもって取り組める魅力的なプログラムを、チームでアイデアを出し合いながら工夫していく。
	6	20	2	0	これまでの活動で効果のあった内容を多く取り入れ、子どもたちの意欲化を図るようにしている。	45	1	0	2	いつも子どもが楽しめるよういろいろな取り組みをしてくれている。 毎月、盛りだくさんの行事を企画してくれている。	マンネリ化しないように教材教具を工夫し、意欲化を図っていきたい。
	7	16	6	0	屋内、屋外、公園等、その日の天候やサービス提供時間に応じたプログラムを工夫している。						はーもにー以外で利用できる施設隣の施設を確保し、季節に応じて活動の場を広げていく。
	8	20	2	0	毎朝、当日の支援計画についての打ち合わせ会を実施し、共通理解を図るようにしている。						毎日、職員朝礼を実施し、1日の流れや引継ぎなどを確認し、支援に生かすようにしていく。
	9	19	3	0	振り返りの会を毎日実施している。また、行事等についても必ず反省会を実施している。						指導発達支援、放課後等デイサービスの職員が毎日、1日の振り返りと、次回への課題を確認できるようにする。
	10	21	1	0	ITCモデル事業所として、記録のデジタル化や映像化等の工夫を心掛けている。						ペーパーレスと業務の効率化をめざし、ICT化をさらに進めていく。
11	19	3	0	児童発達支援管理責任者を中心に直接指導の職員と協議しながら見直しを図っている。						支援計画を児童発達支援管理責任者だけに任せるのではなく、職員全員で意見を出し合いながらより良い支援につなげていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	21	1	0	日本語を母国語としていない子どものケース会議等に外国語に精通している職員を同行させ、意思の疎通を図りやすくしている。					職員の特性や能力を生かした支援体制を確立していく。	
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	0	0	0	現在は該当者なし					現時点では該当者はいないが、いつでも対応できるように研修を深めておく。	
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	0	0	0	現在は該当者なし					現時点では該当者はいないが、いつでも対応できるようにネットワークの構築や研修を深めておく。	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	20	2	1	最近では、一部の小学校からではあるが、情報共有の依頼があり、実施することができた。					事業所側からもケース会議や保育所等訪問支援の機会を積極的に増やしていきたい。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	20	2	0	保護者の了解を得て、発達検査等のデータを共有化することができている。					医療機関との情報交換がスムーズにできるよう、データの分析やアセスメントの能力を高めていく。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	17	4	1	コロナ禍でオンライン研修が多くなっているが、必要な研修を受講することができている。					可能な限り時間を確保し、研修の機会を広げていきたい。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	11	9	3	コロナ禍でなかなか実施できていないのが現状であるが、今後近隣の保育所等と交流する計画がある。	11	5	4	29	コロナ禍のため、やや少なかったように思う。今の状況では特に、必要感を感じない。	年度当初には計画していたがコロナの関係で実施できていないのが現状である。今後、状況を見ながら実現できるようにしていきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	12	5	5	施設で育てた草花を地域の方々にプレゼントしている。					コロナの状況を見ながら、今後春祭り、秋祭り等の行事を計画していきたい。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	17	0	0	契約時やモニタリング時はもとより、必要に応じて保護者に説明するようにしている。	43	3	0	1	契約時やモニタリング時に動画や説明資料を活用しながら詳しく丁寧に説明していきたい。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	18	1	0	児童発達支援管理責任者から保護者の方々に丁寧に説明している。	45	2	0	0	課題や目標の確認を一緒に考えてくれた。	日ごろの様子や検査の結果等を踏まえ、個に応じた支援を実施する。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	17	1	2	ペアレントトレーニングのトレーナーが在籍しているので、コロナが落ち着いたら実施する計画である。	23	7	4	14	個別相談会やグループ相談会のお知らせは毎月ある。	コロナの状況を踏まえながら、できるだけ多くの保護者に参加を呼びかけていきたい。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	18	1	0	ITCモデル事業所として、連絡帳をデジタル化し、保護者のスマホやタブレットを通じてリアルタイムに連絡を取り合っている。	44	4	1	1	普段の様子を毎日伝えてくれ、課題についても一緒に考えてもらっている。詳しく教えてもらっている。さらに、いろいろ聞いてみたい。	送迎時の伝達や電話連絡、さらにデジタル連絡帳を活用しながら共通理解を図っていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	20	1	0	保護者向けの相談会を毎月実施し、家庭での困り感などを共有し、解決に向け一緒に考えるようにしている。	40	4	1	2	適切な助言をしてくれ、家庭でできることを教えてくれた。	今後も毎月定期的にも実施している相談会の参加を呼びかけていきたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	13	8	0	保護者会は結成していないが、少人数の保護者グループによる相談会を実施している。	32	5	4	8	保護者の意見を取り入れてくれ、園や学校へ向けての相談会等も行ってくれた。このような機会を増やしてほしい。	保護者向けの研修会や懇談会を企画していきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	18	1	0	苦情対応担当職員から全職員に対して、迅速に情報共有や問題解決のための話し合いを行い、その結果を保護者に伝えるようにしている。	37	3	0	10	まだ利用しはじめてから日数が経っていないのでよくわからない。	苦情対応担当職員を中心に、保護者の要望に迅速に応えられるよう体制を強化していく。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	18	2	0	毎日、デジタル化した連絡帳で意思の疎通を図っている。	45	3	1	0	時々、こちらの要望が他の職員に伝わってないことがあった。	伝達事項は必ず記録し、確実に他の職員に伝わるようにする。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	18	1	0	「はーもに一だより」を毎月発行し、情報提供行っている。また緊急時には直接保護者のスマホ等に連絡できるようなシステムを活用している。	47	1	0	2	毎月の活動内容を知らせてくれたり、その時の様子等を詳しく知らせてくれている。	ITCを活用し、文字だけではなく映像なども取り入れて、より詳しく活動内容が伝わるようにしていく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	20	0	0	重要書類の施錠管理やPC等のデジタル情報についてもセキュリティーソフトの導入やパスワードを設定する等、情報流出の防止に万全を期している。	46	0	0	4		個人情報が出ないよう全職員で確認し合い、セキュリティーに万全を期していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
非常時等の対応	1	17	4	0	非常変災対策マニュアルを完備し、保護者の方々には簡易化されたパンフレット等を配布している。	30	2	3	12	対応の流れが即座に理解できるよう図式化を図り、万全を期していきたい。
	2	18	2	0	さまざまな災害に対する項目別の避難訓練を年間計画に基づいて実施している。	38	1	2	10	様々な避難訓練を実施してくれている。もう少し、回数を増やしてほしい。
非常時等の対応（続き）	3	17	1	0	年度当初に虐待防止と身体拘束適正化についての指針やマニュアルをもとに研修会を実施している。					虐待防止に関する法的根拠や国からの資料などを基に職員研修を実施し、虐待の防止に努める。
	4	14	7	0	現在、該当者はいないが、今後そのような状況になれば、国の定めるマニュアルに沿った適切に対応したいと考えている。					現在、該当者はいないが、身体拘束に関する適正化についての指針を定め、職員研修等で理解を深める。
	5	17	5	0	契約時に食物アレルギーに関する調査を行い、適切に対応するようにしている。					契約時に保護者から情報を得るとともに、それを全職員が共通理解し、可能な限り対応し、無理な場合は弁当を持参してもらう。
	6	18	1	0	職員室の目につきやすいところにヒヤリハットを設置し、事案が発生した場合は全員で目を通し再発防止に努めるようにしている。					些細な事案でもヒヤリハットに記載し、職員全員で事故防止に努めるようにする。